

令和7年度『かきぞめコンクール』表彰式 代表児童生徒のことば

令和8年2月8日（日）三河教育会館にて

【小学生代表:小6最優秀賞】 豊田市立加納小学校 6年 こんどう 近藤 あおい 蒼さん

この度は、このような素晴らしい賞とこのような機会をいただき、ありがとうございます。

私が、この「満天の星」を書く時に常に意識したことは、夜空に満天の星が堂々と輝いている空を思い浮かべることができる作品になっているかということです。キャンプへ行った時、夜空に星がいっぱい輝いてきれいだったことと、今、自分の書いた作品が同じかどうかをよく考えて練習から取り組んできました。

一番苦勞した文字は、「満」です。形、バランスや空間、さんずいの筆の入れ方と止め方、どれも難しく、何度も「満」だけの練習をしました。次に苦勞した文字は「天」です。画数は少ない文字ですが、左右のはらいのバランスが難しかったです。最後の最後まで自分の満足する文字が書けていたのか不安でしたが、今回、最優秀賞をいただけて、小学校生活最後に達成感を味わえ、自分の自信になりました。

中学校でも、空いっぱい輝く満天の星のように、目標に向かって自分らしく輝き続けられるよう、何事にも自信をもってがんばりたいと思います。ありがとうございました。



スピーチをする近藤さん

【中学生代表:中3最優秀賞】 安城市立東山中学校 3年 はまの 濱野 そうた 蒼太さん

この度は、最優秀賞に選んでいただき、誠にありがとうございました。

八年前、不安な気持ちを抱えながら始めた書道が、まさかここまで長く続いて、ここまで上達するとは全く思いませんでした。書道を続けてきたことで、様々な賞をいただいたり、字をほめていただいたりする機会が増えてきました。それ以上に、ここまで夢中になれるものができたこと、そして、素晴らしい先生に出会うことができたことが、何よりもうれしく、書道を続けてきてよかったと思えます。深夜までひたすら字を書き続けた日は、今ではいい思い出です。受験期のため、書道がなくなってしまった日常は、少し寂しいですが、「不屈の精神」をもって、最後まで志望校合格に向け、全力で頑張っています。先生や書道教室の子たちにも、体調には気をつけて、書道を頑張っていたきたいと思います。

最後になりますが、主催いただいた愛知教育文化振興会の皆様、審査員の先生方、誠にありがとうございました。



スピーチをする濱野さん